

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 名古屋市立丸の内中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒460-0001
愛知県名古屋市中区三の丸一丁目9番2号

E-mail : marunouchi-j@nagoya-c.ed.jp
 Website : marunouchi-j.nagoya-c.ed.jp

児童生徒数：男子 64 名 女子 62 名 合計 126
 名

児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（福祉)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。



1 本校の取り組み（概要）

本校では、総合的な学習の時間を活用し、国際理解、福祉、環境、各分野の専門家を講師として招き、体験を重視した学習を行っている。

平成25年度の内容については、以下の通りである。

2 実践の概要

A 国際理解学習（1学年）

【なごや地球ひろば（JICA 中部）見学】（5月）

JICAの職員から外国の様子を聞き、質疑応答を行った。

帰校後、まとめを行い、模造紙にまとめ、発表・展示した。

【外国人講師による講演・実習】（5月～11月）

5か国（バングラデシュ、フランス領カリブ、ウズメニア、メキシコ）の出身の講師をJICAより紹介し、各国の文化や風土、子どもの遊びなどについて、実演を交えながら講演をしていただいた。

まとめを行い、模造紙にまとめ、文化発表会の作品展で展示発表した。



B 福祉学習

【高齢者体験】（1学年／12月）

高齢者疑似体験グッズを装着し、以下のような行動を実際に体験し、高齢者理解を図った。

- ・ペットボトルのふたを空ける
- ・限られた枠内へ記名
- ・財布から小銭を払う
- ・新聞をめくる
- ・雑誌を読む
- ・地面（床）に落ちたカードを拾う
- ・階段の昇降 等



【車椅子体験学習】（1学年／2月）

福祉施設に勤務している肢体不自由の方を講師として招き、バリアフリーについての講演をしていただくとともに、車椅子の使い方についての指導をしていただいた。そして実際に車椅子で市内各所へ公共交通機関を使って出かけ、グループでの分散学習を行った。路上の小さな石や障害物、地下鉄での移動、券売機の高さなど、街には障害者と介助者にとってとても不便なことがたくさん存在することを再認識することができた。



〈車椅子体験〉

【福祉体験学習】（2学年／2月）

毎年2年生が、市内10か所前後の福祉施設に分かれ、福祉体験学習を実施している。

1年生の時に学習した高齢者疑似体験学習や車椅子体験学習で得た知識や体験を生かし、現場での実践に臨んだ。この体験では、高齢化社会において中学生としてできることは何なのかを考えさせるとともに、今後さらに

高齢化が進むといわれる近未来の展望について考えさせる機会となった。

C 伝統文化学習

【三味線実習】（2学年／6月～1月）

毎年2年生を対象に、年間10回（10時間）専門家を指導者として招き、三味線の授業を行っている。三味線の技術のみならず、歴史的背景や礼儀作法など、日本の文化・古典芸能として指導していただいている。

【伝統文化学習】（3年生／講座選択制2時間×5回）

本校では「本物を見る、聞く、知る、体験する」学習活動に重点を置き、3年生を対象として、伝統文化の講座を開設している。狂言、能管、名古屋友禅、お茶、歌舞伎の5講座から生徒が1つを選択し、2時間単位で5回の実習を行うこととなる。「その道の達人」ともいえる専門家を講師として招き、基礎的なことを中心に指導していただいている。それぞれ、最終的には一つのを完成させ、学校開放日に発表している。

〈狂言〉

〈能管〉

〈名古屋友禅〉

〈お茶〉



〈福祉体験学習〉



〈三味線実習〉



〈歌舞伎〉

【茶道教室】（2・3学年／3月）

本校学区在住の専門家を講師として招き、毎年、年度末に、2・3年生全員を対象とし、茶道実習を開催していただいている。作法のみならず、掛物、茶器、花器などの意味等についても教えていただいている。2年生にとっては、3年生になってから学習する伝統文化学習の動機付けにもなっている。また、3年生は、卒業直前にこの実習を行い、これまでの3年間で学んできた伝統文化学習を振り返るとともに、お世話になった恩師や仲間感謝の気持ちを姿形で表す機会となっている。



〈茶道教室〉

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）